

授業科目名： 動物基礎医学特別演習 B（岩手大 学）		単位数 2 単位	担当教員名： 教授・准教授
			担当形態： 単独
配当年次： 1 年次通年	授業形態： 演習科目		開講形態： 第 1 副指導教員による研究指 導
授業のテーマ及び到達目標： 履修者各自の研究課題に対して、論文作成上に必要とする実験的な手法について指導し、 履修者がそれら実験的手法の理論などを理解し、手技を学ぶことを到達目標とする。			
授業の概要： 獣医学の基盤を担う動物基礎医学に関して、第 1 副指導教員が履修者の研究内容に応じて 研究テーマに関連する実験上の知識の教授と助言を行い、博士論文の作成を支援する。			
授業計画： 動物基礎医学講座に所属する履修者の研究内容に応じて実験場の知識の教授と助言を行う。 以下のとおり、博士論文の研究テーマに密接に関連し、必要とされる実験的な手法について指導する。 このことを通じて、博士論文に通じる学生の研究テーマに密接に関与する技術、技能を養う。 ①研究テーマに応じて必要な実験の実施方法を指導する。 ②実験で得られたデータの管理法、解析法を指導する。 ③実験で得られたデータと先行研究との比較、研究の限定性を含めた考察を指導する。 ④学会などでの成果発表を支援する。 ⑤学術論文の作成を支援する。  （落合 謙爾） 獣医病理学、動物疾病、病理発生、ウイルス、腫瘍 （木崎 景一郎） 動物生命科学、総合動物科学、分子細胞生理学 （佐藤 洋） 薬学、薬理、基礎医学、トキシコロジー、内分泌、実験病理、化学療法 （古市 達哉） 動物生命科学、総合動物科学、実験動物学、疾患モデル動物学、発生工学 （山本 欣郎） 動物生命科学、総合動物科学、神経系比較組織学 （中牟田 信明） 動物生命科学、総合動物科学、感覚器解剖学 （山田 美鈴）			

動物生命科学、統合動物科学、ホメオスタシス維持機構

テキスト：特になし

参考書・参考資料等：特になし

学生に対する評価：受講状況・態度や、実験手技ならびに結果の解釈における習熟度、理解度などにより総合的に評価する。